

NO.335

3月

2026.3.1発行



発行

社会福祉法人こごせ福祉会  
発行責任者/上田 利恵子  
編集責任者/杉岡 文代

HP



大阪府富田林市北大伴町三丁目5番30号  
TEL : 0721-25-5649  
FAX : 0721-26-7551  
HP : <https://kogose1993.com>

## 選挙をめぐる不安と 私たちが守りたいもの

### 突然の選挙を 振り返って

怒涛の衆議院選挙が終わり、自民党が大勝するという形で選挙の決着がつけました。

国会の論戦があれば、だれが、どの党が、どんな主張をしているかを知ることができませんが、衆議院の突然の解散選挙で、私たちは本当に選ぶことができたのだろうかという疑問がわきます。こごせ福祉会が言うまでもなく障がい者の方々の支援施設であり、選挙があれば当然利用者への説明や相当の支援をしなければなりません。選挙当日は日曜日なので、実際の投票行動は、家族が中心に行っていると思

われませんが、今回は家族を含めどれだけの人が情報に接することができたのかと、甚だ疑問がわきます。

障がい者は情報に対して弱者ですし、選挙に対して弱者です。「投票場に行けば、対応してもらえますよ」という案内だけでは「足りない」、そんなことを実感させる、今回の選挙でした。

### 平和に生きる権利 を守るために

情報の一端として、これから憲法改正や非核三原則の見直し、スパイ防止法の制定などが取りざたされています。そのよ

「平和のうちに生きる権利」「人として尊ばれる権利」が守られることではないでしょうか。

憲法前文の一節には「全世界の国民が、等しく恐怖と欠乏から免れ、平和の内に生存する権利を有する」とあります。また他の条文では、「すべて国民は、個人として尊重される」とあります。

私たちは、利用者としての障がい者がこの権利から疎外されないように見守ることが重要になっています。また、私たち自身が「自分事」としても注視することが重要になっています。

### 利用者の声から 見える生活の現状

利用者の生活は、年金に支えられています。こごせ福祉会を利用して

上昇しているのが現実です。「服買われへん」とか「雑誌が買われへん」「コンサート行きたいけどお金ないねん」「カラオケ好きやけど行かれへん」という声を聞きます。

要求は大きいことではありませんが、これを実現するためには、一人一人の年金を上げること、事業に対する報酬を上げるなど、いわゆる社会保障関係予算の増額が必要です。政府は来年度の社会福祉予算の自然増に対して、1500億円を圧縮しています。

国民の一人一人、福祉事業を運営する者、すべての人が苦しんでいます。今後の政府や国会の動きに注意が必要です。

社会福祉法人

こごせ福祉会

理事 上田利恵子

# 令和7年度指定障がい福祉サービス事業者等集団指導の学習

## 法人管理職研修

### 法令遵守と質の高いサービス提供体制の確保

1月14日、各施設の管理者、施設長、サービス管理責任者、主任等が集まり、管理職研修を実施しました。

今年度の集団指導の主なポイントは、昨年度の報酬改定と、それに伴う

意見交換をしました。その中でグループホームから、施設の活動や利用者の生活を知ってもらい、「地域連携推進会議」を実施し、その後地域の防災訓練行事に参加する等の良好な関係性を築く事ができたという報告がありました。

法令遵守や、質の高いサービス提供体制の確保のため、今後も学習と実践を重ねていきたいと考えています。

すずらんホーム施設長

齊藤 大



## 利用者公聴会を開きました

＼ 利用者が楽しく充実した作業所生活を送れるように ／

1月29日（木）かがりの郷で利用者公聴会を実施しました。拓共同作業所から利用者8名と支援員、各事業所の施設長やサービス管理責任者、主任、理事、第三者委員の竹田氏の9名が参加しました。

第2拓作業所の利用者はリモートで参加しました。会場の大きなスクリーンと作業所のパソコンをつなぎそれぞれの様子を見られるようにしました。

事前にアンケートを実施し、利用者一人一人に聞き取りをするなどして意見を聞き、それぞれの事業所から回答を行い、会場参加者やリモートを通して第2拓作業所参加者からの意見や要望も聞きました。「作業は楽しい」「給食で春巻き、とんかつが食べたい」「給料がもっと欲しい」「お出かけや、カラオケ、おやつ作りが楽しい」「図書館でCD借りたい」「屋台をしたい」などの声が上がりました。

第三者委員の竹田氏からは、毎年公聴会を行うことで要望がたくさん出されるようになり、たくさん出ることでより良い作業所になっていくと思いますと意見をいただきました。各事業所からは、「みんなの声を聴くことができたので、これからも話し合いながらより良い作業所になるようにしていきたい」との回答があり、今後の事業所の活動に繋がるための取り組みになりました。

拓サポート 井上 悦子



拓共同作業所

# 楽しいグループ外出

後編

前号に引き続き、拓共同作業所のグループ外出の様子をお届けします。  
今号は、カラオケが2グループ、動物園、工場見学に行きました。

## 工場見学



青木松風庵の月化粧ファクトリーに行き、工場見学とお買い物を楽しみました。キャラクターの『つきろーくん』になりきって写真も撮り、できたてのあたたかいみるく饅頭を食べました。

キャラクターの『つきろーくん』になりきって写真も撮り、できたてのあたたかいみるく饅頭を食べました。

てんとう虫パークでカラオケを楽しんだあと、河内長野の高倉町珈琲に行きました。メニューを見て自分が選んだパスタやオムライスをいただきました。



## カラオケ & 外食



## 動物園



天王寺動物園に行きました。天気もよく、動物たちを身近に感じる事ができた一日でした。



てんとう虫パークのカラオケに行って、自慢の喉を披露。カラオケのあと、かつ喜で揚げたてのカツを堪能しました。



# 成人おめでとう！



## 2025年度ごごせ福祉社会 はたちを祝う会

1月22日(木)、2025年度「ごごせ福祉社会 はたちを祝う会」を開催しました。

本年度は、職員が心を込めて手作りした装花やコサージュが会場を彩り、あたたかな雰囲気の中で式を迎えることができました。

拓共同作業所の3名、第2拓作業所の1名、計4名の方が二十歳を迎えられ、ご家族の皆さまに



見守られながら、晴れやかな節目の日となりました。

お祝いの言葉では、ご家族・利用者・職員から、皆さんの成長を感じられる温かいメッセージが寄せられ、会場は祝福の気持ちで満たされました。

スライドショーでは、自らの姿や同級生の姿を真剣に見つめる方、笑顔で歓声をあげる方など、それぞれが思い思いに楽



しむ姿が見られませんでした。

記念品贈呈では、花束、ロボのパンのお菓子セット、式典で上映したスライドショーや2年間の思い出を収めたDVDが手渡され、皆さんとても喜んでおられました。

『拓SPA』によるツバ

メダンスが披露され、二十歳を迎えられた方も一緒に踊るなど大いに盛り上がりました。笑顔が絶えないひとときが続き、最後まで心あたたまる式となりました。

二十歳を迎えられた皆さんがこれからも多くの経験を重ね、さらに成長していけるよう、今後も支援を続けてまいります。

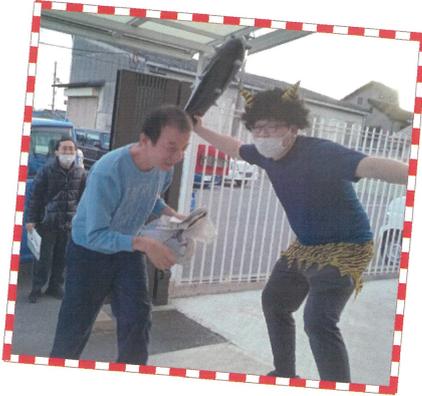
拓共同作業所施設長  
北阪 諒平



すずらんホーム



# 鬼がやってきましたぞ〜



2月3日、作業所から帰って来た利用者に鬼がお出迎え！笑って「怖い怖い」と足早に居室へ戻る人もいれば、豆を持って鬼に投げようか迷っている人もいました。夕食は鬼に見守られながら恵方巻を美味しく食べて、楽しい一日を過ごしました。

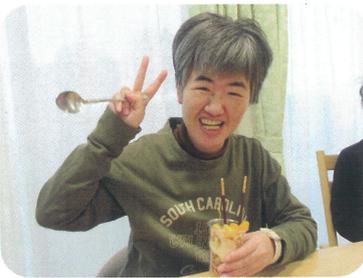
(西浦)



にゅうめん、恵方巻  
いわしの竜田揚げ  
玉子焼き



- ＜材料＞
- ・コーンフレーク
  - ・バニラアイス
  - ・フルーツ
  - ・あんみつ
  - ・ポッキー



2月11日に利用者のリクエストでパフェ作りをしました。みんな自分の好きな物をトッピングして、アイスクリームやフルーツたっぷりでおしゃれな美味いパフェが完成しました。完成したパフェはおやつのお時間に食べました。「おいしい！次はクレープしたいな」とリクエストがあったので企画したいと思います。

(森)

## リクエストのパフェ作り

さらホーム

